

この調査結果に基づき、各地域の農業振興施策を検討するとともに、農振農用地の見直しを行い、本市農業の将来像と農業振興方針を明らかにした計画を策定していく。
(農業振興課)

○その他の質問項目

「財政状況をもっと市民に『見える化』を促進する力ギは何ですか」

地域子育て支援事業について

山田 忠之 議員

問

①地域子育て拠点施設の事業内容、及び今後の計画②市民活動支援センターを子育て支援の場として利用できるか③三歳未満で保育所を利用していない児童数、及び待機児童数④民生・児童委員が実施している子育てサロンへの支援について、それぞれ伺いたい。

答

①この施設は、子育て中に親子の交流の場として利用いただくほか、子育てに関する相談や情報の提供を行うものである。今後も地域のバランスを考慮しながら、民間活力と併せて計画的に整備していく。②同センターを

子育て支援活動の場として利用することは難しい。③本年三月現在で約三千六百人を見込んでおり、待機児童は二月現在で八人いる。④チラシ印刷やイベント開催に当たり、相談や助言を行っている。(こども課)

休日夜間診療について

加藤 恒男 議員

問

熊谷市休日夜間急患診療所の①年間利用者数及び市内外別、年齢構成別の利用状況②経営状況について、それぞれ伺いたい。

答

①平成十八年度は、休日三千八百九人、夜間四千二百八十人の受診があり、市内外の別では、市内六千九百六十八人、市外千二百一十一人で市外受診者は全体の約十四％である。年齢別では、小児・内科では、就学前の乳幼児四千五百九十人、小学生千二百三十人、中学生以上二千五百人で、内科・小児科受診者の約七十四％を小学生以下が占めている。②平成十八年度は、収入約六千九百万円、支出約五千九百万円となっているが、併設の母子健康センターとの共通経費分を考慮すると、支出が上

回る状況である。(健康づくり課)
○その他の質問項目
「ごみ有料化をどう考えるか」
ほか



休日夜間急患診療所

公用車等の貸出制度について

吉田 勝彦 議員

問

清掃活動やボランティア活動等の市民活動を推進するため、休日等で使用していない公用車を市民に貸し出すことができないか。

答

現在、市の公用車が加入している共済保険は使用目的が公務上の使用に限定され、運転者は職員を前提としている。そこで、公用車を貸し出す場合には、保険が市民にも適用される民間の損

害保険に加入することが必要となる。しかし、共済保険に比べて三、四倍程度の保険料が必要となることから、費用対効果の面において、また、貸出中の事故等で返却が遅れた場合、翌日の公務使用に支障が出ることも考えられるため、その対応等について検討していきたい。(庶務課)

○その他の質問項目

「障害者福祉について」ほか

合併効果と今後の課題について

松浦 紀一 議員

問

新市となり一年が経過した。合併により①期待された事項②懸念された事項について、それぞれ現状の評価と今後の課題を伺いたい。

答

①二十万都市の実現による存在感の高まりや、特別市への道筋が示されたこと、また、地域資源を市民で共有し、将来に向け大きな可能性を持つてたと考えている。さらに、行財政体質の強化が図られ、十年間で百四十三億円の削減効果や、地方交付税の算定特例等、国から約四十億円の財政支援があり、市民サービス

の声が行政に届きにくくなるなどの懸念があったが、ハートフルミーティングの実施、地域審議会の設置等により、広く市民皆様の声を聞くよう心がけている。また、行政サービスの水準維持に関しては、負担の公平や一体性確保の原則を踏まえて進めている。(企画課)

○その他の質問項目

「中心市街地活性化及びテクノグリーンセンター予定地用地活用について」ほか

環境行政について(カーボンオフセットについて)

谷 幸代 議員

問

日々の生活から排出される二酸化炭素量を、森林保全事業等への投資、寄付により相殺する「カーボンオフセット」推進事業について、国の予算を利用できないか。

答

また、市のイベントへの導入と寄付受付等のシステムづくり、さらに環境基本計画への位置付けができないか。
国は、平成二十年度にこの事業を推進するため、公募によりモデル事業等を選定し、イベント等の開催に伴う排出量の算定やオフセット手法等について情報を収集す